



公益  
社団法人 京都府放射線技師会

# 京放技ニュース

4 / 2018  
(通算 695 号)

発行：(公社)京都府放射線技師会 TEL&FAX 075-802-0082 E-mail:kyohogi @ mbox.kyoto-inet.or.jp  
ホームページアドレス <http://www/kyohogi.jp/>

〒604-8472 京都市中京区西ノ京北壺井町 88-1 二条プラザ

振込郵便口座 01070-3-11019

ゆうちょ銀行 店名(店番) 109 当座 0011019 シャ) キョウトフホウシャセンギシカイ

## 平成 30 年度事業の始まり

公益社団法人 京都府放射線技師会会長 河本 勲則

梅一輪 一輪ほどの 暖かさ(嵐雪)の俳句のように厳しい冬からようやく春らしくなってきました。この冬は、ラニーニャ現象から寒く、雪の降る日が続き、交通機関への影響も頻繁に発生し、3月になってもインフルエンザが猛威を振りました。各施設では、人手不足で業務に影響も出るところがあったと思います。この後は、花粉の季節となりますので一難去ってまた一難、会員の皆様体調管理をしっかり行い益々煩雑になる業務へのモチベーションを整えてください。

さて、平成 30 年度診療報酬が改定されました。実質 3 回連続でマイナス改定となりましたが、我々が重視する内容は、画像診断関係の画像診断で画像診断管理加算が従来 1 と 2 であったのが 1~3 の 3 段階に分けられ加算点数も 70 点、180 点、300 点に変更されています。管理加算 3 では施設基準の中に被ばくの管理も含まれています。この改定内容を皆様はどのように思われましたでしょうか。私が思うに検査件数を増やして増収を考える前に、管理体制を整えることでコストも生まれ、施設間での収益差に反映されることと捉えます。

放射線診療、治療には、高額の設備投資が必要です、診療報酬がマイナス改定であっても考え方を換えれば増収が望めますし、被ばくの管理も施設基準に含まれたからには、我々診療放射線技師が被ばく管理、装置管理も行っている(残念ながらまだ点数には反映していません)わけですから上の施設基準を取るためには、被ばく低減施設認定も必要になるかと思えます。いずれにしても、各施設でできることをよく考えて対応しないと減収になることを肝に銘じて行ってください。被ばく低減施設認定への取り組みには自治体や機能評価機構も関心を示しているようです。

平成 30 年度は、更なる業務拡大と診療放射線技師法改正へ向けて業務拡大に伴う統一講習会を市内会場で開催します。会員の受講率も 57% と近畿ではトップの参加率で今後は非会員の受講を増やすことが課題となります。10 月 27 日には当会創立 70 周年記念式典を京都ブライトンホテルで開催します。京滋放射線技師会から独立して京都府放射線技師会が設立され、今日まで歴代の会長をはじめ役員、会員のご尽力により診療放射線技師向上と職能団体としての技師会への思いが 70 年の長きにわたる歴史と伝統を築き上げられました。京都府放射線技師会の栄光を祝うにふさわしい記念式典にしたいと企画準備しています。平成 30 年度も定例の研修会をはじめ府民公開講座や新春の集い、学遊会など多くの事業を行いますので、会員の皆様におかれましては、事業への参加とご協力を賜りますようお願いいたします。

## 会告

### 第 71 回公益社団法人京都府放射線技師会通常総会開催のお知らせ

公益社団法人 京都府放射線技師会会長 河本 勲則  
 定款第 24 条の規定に基づき、下記の要領によって第 71 回公益社団法人京都府放射線技師会通常総会を開催します。会員各位には、ご多忙中とは思いますが万障御繰り合わせいただき御出席になられますようお願い致します。  
 尚、総会出欠はがきは 5 月 2 日(水) までに事務所必着でお願いいたします。

日時：平成 30 年 5 月 6 日(日) 15:30 ～

会場：京都府民総合交流プラザ（京都テルサ）

京都市南区東九条下殿田町 70 番地（新町通九条下ル）

#### 【通常総会次第】

開会の辞

議事

1. 議長選任の件
2. 平成 29 年度事業及び決算に関する件
  - (1) 平成 29 年度事業経過報告（案）  
（総括報告及び各委員会報告）
  - (2) 平成 29 年度会計決算報告（案）
  - (3) 平成 29 年度監査報告
3. 平成 30・31 年度役員選任の件
  - (1) 理事（会長および副会長を含む）の選任
  - (2) 監事の選任
4. その他
5. 議事録署名人選任に関する件

閉会の辞



### 第 570 回研修会お知らせ

日時：平成 30 年 5 月 6 日(日) 14:00～15:30

場所：京都テルサ

会費：会員無料（非会員 500 円）

・「2018ITEM FUJIFILM トピック紹介」

新たな FPD への取り組みと動画技術について

・「EI 値を用いた撮影線量管理の実現について—管理ツール紹介」

EI 値の特性理解と EI 管理による線量適正化への可能性について

講師：富士フイルムメディカル株式会社 モダリティソリューション本部

営業支援グループ 西日本 MS センター 鈴木 宙斗

・「GECT の最新技術紹介」

講師：GE ヘルスケア・ジャパン株式会社 Radiology 推進本部

CT 営業推進部 坪内 伸介

## 平成 30・31 年度地区選出理事候補者選挙開票結果報告

平成 30 年 3 月 5 日

公益社団法人 京都府放射線技師会  
選挙管理委員長 澤田 保雄

平成 30・31 年度地区選出理事候補者(敬称略)選挙開票結果を下記のとおり御報告します。

- 北地区** 有権者数 65、投票者数 38、投票率 58.5%  
当選：河野 友宏（京都博愛会病院）34 票  
次点：山本 祐造、金山 晴人、竹上 潤司 各 1 票、無効票 1 票
- 中地区** 有権者数 66、投票者数 35、投票率 53.0%  
当選：楡 隆之（京都民医連中央病院）32 票  
次点：宮本 健一 2 票、無効票：1 票
- 東地区** 有権者数 94、投票者数 31、投票率 33.0%  
当選：中川 政幸（京都大学医学部附属病院）26 票  
次点：井上 博志、藤本 浩樹、吉永 昭夫、長嶋 利夫 各 1 票、白票 1 票
- 西地区** 有権者数 86、投票者数 49、投票率 57.0%  
当選：平井 靖（三菱京都病院）39 票  
次点：池 和秀 2 票、白票 1 票
- 南地区** 有権者数 76、投票者数 23、投票率 30.0%  
当選：三浦 健一（京都岡本記念病院）15 票  
次点：大西 孝志 2 票、無効票 1 票
- 両丹地区** 有権者数 74、投票者数 53、投票率 71.6%  
当選：平林 良介（京丹後市立弥栄病院）53 票  
次点：なし
- 西南地区** 有権者数 65、投票者数 14、投票率 21.5%  
当選：松本 洋一（大阪医科大学付属病院）10 票  
次点：林 万寿夫、亀田 尚美、西端 豊、熊井 由昌 各 1 票
- 総計** 有権者数 446、投票者数 232、投票率 49.8%

尚、選挙管理委員会では、5 月 6 日(日) 開催の通常総会にて、平成 30・31 年度役員  
の発表と、平成 30・31 年度監事選出選挙を行う予定です。

## 京都府放射線技師会学術大会（第 569 回研修会）報告

学術担当 中川 政幸

2 月 4 日(日) に京都ホテルオークラにて第 569 回研修会を開催しました。2 月の研修会  
は京都府放射線技師会学術大会として、各地区から 1 演題を提供いただき、学術発表  
を行っています。各演題、わかりやすく丁寧に発表され、質疑も活発に行われました。  
日頃経験することでも、発表を通じて更に視野を広げることができ、次への課題、発表  
へ発展できると感じました。来年の演題にも期待したいと思います。  
参加者数は技師会会員 65 名、非会員 6 名でした。

### 1. 負荷心筋血流シンチ専用解析ソフト HRV-S における適切な ROI 設定の検討について

京都第二赤十字病院 古田 淳史

正者 智昭、古和田 健、竹上 潤司、松山 良太、河野 梨恵

負荷心筋血流 SPECT の HRV-S の解析は解析者によりマニュアルで行っている。こ  
れにより解析された Polar map 上の集積低下度を、セグメントごとに集積に応じたスコ

アの閾値を設定することで、自動的にスコアリングを行うことができる。しかし、Polar map の設定をマニュアル自動で操作した際、心基部側のレベル調整(ROI 設定)により、Polar map 上で虚血と判定され、偽陽性になることがある。その対策としてマニュアルにて操作をしているが、HRV における解析者間での心基部側のレベル調整、集積低下度のスコアリングにばらつきが生じていたため、適切な ROI 設定の検討を行った。

## 2. 骨盤臓器脱と MRI

京都民医連中央病院 大下 真

2015 年 11 月より骨盤臓器脱の病態評価、骨盤底機能の評価などの目的で骨盤部の MRI を実施した。この撮影法は下腹部を主に sagittal にてシネ撮影しながら、排便時のように怒責を掛けてもらうことで、骨盤臓器の動態を撮影し診断に役立てる。この検査は撮影中に怒責を掛けてもらう必要があり、患者様の検査への協力が必要不可欠である。今回の 33 症例中 32 症例が女性であり、羞恥心に対する配慮も必要であった。

## 3. 金属除去機能を用いた骨塩定量検査

洛和会音羽病院 佐藤 英正、小林 侑里、井伊 智紀、片山 雅人、菊元 力也

当院では測定部位に金属がある場合、骨塩定量検査を行っていないが、自作ファントムを用いて装置の金属除去機能の精度や影響について検討した。金属ボルト挿入前後の豚大腿骨の骨密度の値を比較し、豚大腿骨の角度を内外旋で変えたときの骨密度の値についても比較した。金属ボルトを骨幹と平行に挿入した場合、骨密度の値は変化が見られなかった。また金属ボルトを大腿骨頭部に斜めに挿入した場合、内外旋の角度が大きくなるに従い正常値と離れる傾向にあった。計測範囲を修正することで誤差は小さくなるが、解析時間の増加や解析者によって結果が変化するという問題があった。

## 4. 円背患者における頭部 MRI 撮影用補助具の作成

済生会京都府病院 木村 直也

円背患者に対して頭部 MRI を施行する機会が増えてきているが、正常に HEAD コイルを接続できずに困ることがある。仰臥位時に HEAD コイルが使えない場合、当院では HEAD コイルのベース部分と整形外科領域で主に使用している 4ch フレックスコイルを組み合わせて撮影を行っている。しかし固定性が悪く、不安定な状態であり、ポジショニングが煩雑で時間がかかるために、慣れていない者には難しいとの問題点があった。今回、簡便に再現性のある撮影ができるように、補助具を作成した。

## 5. Intelligent-Grid とリスホルムブレンデの CNR の比較

京都岡本記念病院 川野 誠

X 線撮影では散乱線の影響によるコントラストの低下を防ぐために、リスホルムブレンデ(以下リス)が用いられている。最近ではコニカミノルタの「Intelligent-Grid」(以下 IG) や、富士フィルムの「Virtual-Grid」などリスを使用せず、ソフトウェアにより散乱線の補正を行うことで、リス使用時と同等の画質を得られるようになった。当院では移転に伴い、IG を導入した。しかし、実際にリスを用いた画像と、IG で処理した画像が同じであるか疑問であったため、IG とリスの CNR を比較、検討を行った。

## 6. 前置胎盤の MRI での評価

国家公務員共済組合連合会 舞鶴共済病院 池田 雄士

前置胎盤は胎盤が正常より低い位置に付着し、胎盤が子宮の内子宮口にかかっていたり覆っていたりする状態をいう。前置胎盤は、胎盤と子宮が癒着する癒着胎盤を合併する可能性が高く、大量出血などを起こすリスクがあるため、分娩前の画像診断が重要となる。今回、T2 強調画像にて胎盤内に低信号帯(T2 Dark band)を認め癒着胎盤を疑っ

た症例があったが、true-fisp の画像により低信号帯は血管を見ていると考えられ、癒着胎盤の可能性は低いと診断された。癒着胎盤の診断に true-fisp の画像が非常に有用となった症例を経験した。

## 7. 一般撮影領域における SONIALVISION G4 の使用経験

関西医科大学附属枚方病院 岩崎 大輔

平成 28 年 3 月に全脊椎撮影が可能な X 線 TV システム SONIALVISION G4 が導入され腰椎や骨盤の撮影にも用いている。これまでの使用経験をもとに全脊椎撮影の原理や撮影方法、臨床画像について紹介する。また撮影条件について、一般撮影領域における標準測定法に基づき、入射表面線量を求めた。全脊椎正面 0.06mGy、全脊椎側面 0.19mGy、腰椎正面 0.83mGy、腰椎側面 3.56mGy、骨盤正面 1.2mGy となり、本邦における診断参考レベル (DRL) より低いことがわかった。(全脊椎撮影については、腰椎における DRL と比較)。今後は、物理評価も含めた画像評価が必要である。

## 平成 30 年度事業計画・予算について

公益社団法人 京都府放射線技師会会長 河本 勲則

平成 30 年 2 月 9 日に行われました平成 29 年度第 10 回理事会にて「平成 30 年度京都府放射線技師会事業計画と予算」が承認されました。以下にご報告いたします。

### 平成 30 年度事業計画

#### 1. 総括

平成 29 年度の事業につきましては、会長就任 2 年目を昨年からの事業中心に継続して行い、会員諸氏のご協力により無事に終えることができました。心より感謝を申し上げます。

今年度も引き続き日本診療放射線技師会主催の「業務拡大に伴う統一講習会」をはじめ、生涯セミナー「一般撮影基礎技術講習会」、「医療基礎コース看護学」と緊急時放射線検査や被ばく管理、相談についての講習会を積極的に開催いたします。

関西広域連合と原子力災害時の放射線被ばく防止に関する協定による住民等の放射線被ばくを防止し、安全確保を目的とした合同研修会への参加、また原子力災害医療協力機関として、医療対応への協力体制を整えてまいります。その為、京都府内で開催されます原子力災害等の訓練や講習会に積極的に参加をいたします。

医療放射線安全性の啓蒙や放射線検査内容の把握と診療放射線技師の業務内容に理解を求め、看護協会の卒後教育や看護学校の放射線関連授業へ講師を派遣します。

関連団体や市民団体のイベントや事業検討会議に参加して、当会事業への協力もお願いします。さらには、中学や高校生、大学生にも正しい放射線の知識について教育の場で学習できる機会作っていただけるよう活動します。

会員数の増加についても取り組んで参ります。新卒者の入会促進事業としてフレッシュ診療放射線技師の集い等を開催いたします。

平成 27 年より開催していますが、業務拡大に伴う統一講習会への参加により、入会者は若干増加していますが、新卒者や若手技師の入会促進を目指し、職能団体としての事業(技術講習会等)を展開し、視線を向けていただけるよう努力します。

当会創立 70 周年記念事業(10 月 27 日開催)の準備を整え、式典、祝賀会が成功裏に終わられるよう実行委員会で企画検討して開催します。診療放射線技師の専門性を生かした高度なチーム医療の推進と情報共有の場として、京都府下病院、会員施設で技師長

会の開催を検討します。

講習会や研修会の開催につきましては、できるだけ迅速に広報し、参加しやすくしたいと考えています。今年度も執行部が協力して、京都府放射線技師会事業推進に努め、平成 32 年までには、京都府内の診療放射線技師全員の業務拡大に伴う統一講習会への受講を目指したいと考えます。

昨年、京都府の立入検査が行われ、公益法人としての継続が承認されましたことから、改正公益法人会計基準への修正、誰もが閲覧できる公文書ファイルを作成し公開します。

厳しい経済状況の中での活動には、会員の皆様のご意見やご協力が必要です。京都府放射線技師会への変わらぬご支援を賜りますようお願いいたします。

## 2. 社会事業（広報・渉外・組織・調査）

- (1) 例年通り、開催予定の「第 45 回くらしと健康展」へ主催者団体の一員として協力参加し、放射線の専門家として、京都府民に医療放射線の啓蒙と放射線を用いた検査の安全性の説明や治療に関わる悩みの相談を行い、診療放射線技師の業務や職能について広報を行います。『放射線なんでも相談コーナー』では、医療被ばくだけでなく、福島原発事故の放射線拡散汚染を含め、新たに取り組む環境問題など、客観的知識を一般の人々に啓蒙したいと考えます。さらに、府民の皆様に広く診療放射線技師業務を理解していただくために、放射線管理士委員会と共に連携し、相談・問合せの対応や啓蒙活動を行い、情報委員会からは、ホームページ上に最新情報や知識を逐次掲載し、会員だけでなく一般の人々にも社会性や公益性をご案内し、広く情報公開していきます。他団体との連携も強化し、さまざまな機会を通して講演活動を積極的に行います。
- (2) 関連団体事業にも積極的に協力し、原子力災害対策協力機関の一員として、行政（京都府）が開催します放射線（原子力関係）被ばくに関する原子力災害医療訓練、講習会などに診療放射線技師の派遣を行います。また、無資格者による放射線技師業務の防止については、管理者が法定独占業務を確定する診療放射線技師法を遵守されるように、関係機関（京都府・京都市・京都府医師会・京都府歯科医師会・京都私立病院協会）に要望書を提出し、コンプライアンス重視の社会情勢の中で、京都府民が安心して放射線診療を受けられるよう協力を求めています。
- (3) 「第 53 回京都病院学会」については、今年度も実行委員、座長を派遣し協力します。会員が放射線技術向上と医療安全や感染管理への研究発表が出来る場として活用することにより、他団体との重要な情報交流の場と考えています。
- (4) 組織調査活動については、各会員施設及び技師学校へ新卒者の京都府下への就職先調査をもとに、厚生委員会と協力して「フレッシュ診療放射線技師の集い」を開催します。いろいろなイベントから技師会への入会を推進し、会員間の求心力の向上を図ります。各地区の活性化に向けて全地区委員会および学遊会を開催し、会員の意見交換と集約を行い技師会の事業推進への協力を促します。さらに、会員への調査事業を活発にするとともに、各地区委員会へも三役が参加して問題点を洗い出し、衆知し活性化を図ります。各地区の班編成の状況を調査し、再編成を含めて、地区活動が活発に行えるようにします。そして、若い会員の意見の導入を積極的に行い、会の活性化に努め、調査に関しては会員の考えや要望を取り入れ、多くの会員参加型の事業を推進していきます。
- (5) 技師長会の開催について、会員施設の技師長、副技師長に参集いただき、医療情報の共有や放射線技師の専門性を生かしたチーム医療の推進についての検討会や研修会の開催準備をします。
- (6) ベトナム海外事業については、近畿地域技師会の意見を聞きながら、積極的な活動ができるよう準備をします。

### 3. 研修事業（学術・放射線管理）

学術活動について、京都府放射線技師会の理念であります診療放射線技師の役割の充実と資質の向上を目指し、会員が望む生涯学習教育および会員相互の学術、知識、意識向上の情報交換のできる研修会、さらには府民に求められる研修会を基本に各関係団体の協力も得ながら行います。今年度も引き続き（公社）日本診療放射線技師会主催の基礎技術講習、医療基礎コース（看護学）を開催します。定例の研修会では、新入会員向けの基本技術や専門的な内容から、一般的な医療情報と健康増進の話題も取り入れた、府民公開講座も積極的に企画します。また、チーム医療の一員として、医療従事者として求められる医療安全、感染対策の習得や法改正に伴う単位履修も目的に開催しています。「業務拡大に伴う統一講習会」を京都府下全診療放射線技師対象に平成 32 年度までできる限り開催したいと思います。

#### (1) 京都市内会場

特に開催月は決めず、土曜日を基本に年 6 回程度とする。但し、時間的余裕（3 時間）のある研修会や夜間、日曜日、祝日開催も考える

#### (2) 両丹地区会場

開催期は限定せず、研修会を年 3 回程度行う

#### (3) 日本診療放射線技師会主催の基礎技術講習および医療基礎コース等の生涯教育を開催する

#### (4) 府民公開講座を年 1 回、学術大会の一環として行う

#### (5) 「業務拡大に伴う統一講習会」を市内中心に府内会場を含めて 3 回以上開催する

#### (6) その他

医療従事者として必要とされる知識やスキルを習得する研修会も積極的に開催します

\* 研修会は会員無料、非会員は有料とします。

管理士活動については、管理士会の事業推進を図るとともに、学術・広報・組織と連携し、「くらしと健康展」へ派遣や被ばく医療に関する講習会（研修）を開催して、放射線に関する実態調査など教育・編集・調査の三分野を充実させます。さらに、原子力災害関係の講習会や訓練、緊急被ばくフォーラムなどに積極的に参加し、他府県の放射線管理士部会との交流も行います。京都医療科学大学の協力のもと、線量計の取り扱いや校正と被ばく管理に関する講習会を開催し、京都府下の各病院と正確な線量計管理と災害時の被ばく線量測定の協力体制を強化します。

### 4. 情報事業（編集・情報）

編集活動について、「京放技ニュース」は基本毎月 1 日発行とします。「京放技ニュース」は会員に最新情報を提供・会員相互の意見交換のツールでありますので、会員からの意見や要望や経験談を原稿にして投稿していただきたい。また、各委員会と連携を取り合い、読みやすい紙面構成と事業の長期計画の掲載をして、各会員が予定を立てやすいように構成します。年度末に発行します「京都府放射線技師会雑誌」については、会員のみならず、府民をはじめ誰が読んでも興味を持てる内容とし、さらには、時代の流れから書面のデジタル化も検討、当会HPへも一部内容を掲載していきます。

情報活動については、京放技、日放技関係の活動内容をインターネットを通じて広報し、会員への迅速な情報提供に心がけ、会員相互の交流や技術、知識の向上を目的とした、会員からの投稿記事の掲載を行うなど閲覧しやすくし、各種団体とのリンクや研究会、勉強会のご案内を積極的に行います。京都府民に対しても公益法人としての役割を十分に果たせるようホームページ上では、府民向けの資料を掲載するとともに、府民の健康生活に活用して頂けるように企画します。

また、公開講座をはじめ各種の放射線に関連するイベントのご案内を行い、組織調査、広報渉外、放射線管理士並びに放射線機器管理士と共に、様々な情報提供を行い、府民

の皆様に向けた医療被ばくや医療機器コーナーを充実させます。放射線に関する質問についても活用して頂けるよう広報し、正確かつ迅速にお答えできるようにし、診療放射線技師の業務を少しでも理解していただくために、各委員会と連携を深め活動します。

## 5. 厚生事業

厚生事業については、会員相互の親睦を図るための重要な事業であり、懇親を深める事業を主に計画します。また、フレッシュ診療放射線技師の集い、新春の集いは例年通り開催します。

## 6. その他

### (1) 表彰関係

昨年度の実績を踏まえて、個人（会員）・団体に対する表彰の推薦を積極的に行います。

### (2) 創立 70 周年記念事業

10 月 27 日開催に向けて実行委員会を中心に記念事業が成功裏に終わられるよう企画準備します。

### (3) 平成 31 年度近畿地域診療放射線技師会学術大会

平成 31 年度近畿地域診療放射線技師会学術大会が開催当番となりますので、準備委員会を立上げ、開催準備を進めてまいります。

### (4) 京都府下病院、会員施設の技師長会を開催し、医療情報の共有や技師業務の改善を協議し、地位向上と協力体制の構築を目的に活動します。

## 平成 30 年度 収支予算書（収支ベース）

平成 30 年 4 月 1 日から平成 31 年 3 月 31 日まで

公益社団法人 京都府放射線技師会

科目	予算額	前年度予算額	差異	備考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
①基本財産運用収入				
基本財産運用収入	100	250	△ 150	
②受取会費収入	6,075,000	5,950,000	125,000	
正会員会費収入	5,450,000	5,300,000	150,000	会員 520 名 新入会 15 名 新卒入会 20 名
賛助会員会費収入	625,000	650,000	△ 25,000	25,000 円×25 社
③事業収入				
広告料収入	700,000	700,000	0	
④受取補助金収入				
日本放射線技師会補助金収入	0	0	0	
地方公共団体補助金収入	90,000	90,000	0	
⑤受取負担金収入				
日本放射線技師会負担金収入	70,000	50,000	20,000	
⑥寄付金収入				
寄付金収入	10,000	10,000	0	
⑦雑収入	10,100	10,200	△ 100	
受取利息	100	200	△ 100	
雑収入	10,000	10,000	0	
⑧特定資産取崩収入	1,000,000	0	1,000,000	
記念事業積立金	1,000,000	0	1,000,000	
事業活動収入合計 (A)	7,955,200	6,810,450	1,144,750	

2. 事業活動支出					
①事業費		5,617,000	4,489,000	1,128,000	
印刷製本費		1,000,000	1,000,000	0	
通信運搬費		510,000	470,000	40,000	
	通信運搬費	40,000	40,000	0	
	連絡費	400,000	360,000	40,000	
	IT 関連費	50,000	50,000	0	
	電話料	20,000	20,000	0	
賃借料					
	会場費	400,000	350,000	50,000	
諸謝金					
	講師費	260,000	260,000	0	
近畿地域学術大会準備費		100,000	0	100,000	
創立 70 周年記念式典費		1,000,000	0	1,000,000	
福利厚生費		465,000	475,000	△ 10,000	
	調査研究費	100,000	100,000	0	
	図書費	5,000	5,000	0	
	福利厚生費	300,000	310,000	△ 10,000	
	渉外費 (慶弔)	60,000	60,000	0	
会議費		225,000	260,000	△ 35,000	
	学術	30,000	30,000	0	
	編集	30,000	20,000	10,000	
	広報渉外	5,000	5,000	0	
	組織調査	30,000	20,000	10,000	
	管理士会	20,000	30,000	△ 10,000	
	厚生	5,000	5,000	0	
	情報	25,000	25,000	0	
	特別	10,000	20,000	△ 10,000	受賞者選考
	地区 (7 地区)	70,000	70,000	0	
	創立 70 周年記念事業委員会	0	35,000	△ 35,000	
旅費交通費		335,000	480,000	△ 145,000	
	学術	50,000	50,000	0	
	編集	30,000	30,000	0	
	広報渉外	10,000	10,000	0	
	組織調査	40,000	45,000	△ 5,000	
	管理士会	20,000	100,000	△ 80,000	
	厚生	20,000	20,000	0	
	情報	25,000	25,000	0	
	特別	10,000	30,000	△ 20,000	受賞者選考
	地区 (7 地区)	130,000	130,000	0	
	創立 70 周年記念事業委員会	0	40,000	△ 40,000	
広報渉外		150,000	80,000	70,000	
	くらしと健康展	40,000	60,000	△ 20,000	
	原子力災害関連	100,000	0	100,000	
	関連団体	10,000	20,000	△ 10,000	
事業雑費		5,000	5,000	0	
給料手当		550,000	535,000	15,000	
	給料通勤手当費	550,000	535,000	15,000	
	法定福利費	0	0	0	
租税公課費					
	諸税	45,000	45,000	0	
受信費					
	電話料	100,000	55,000	45,000	
消耗品費		90,000	90,000	0	
	消耗品	70,000	70,000	0	
	印刷費	20,000	20,000	0	
光熱水料費		40,000	40,000	0	
消耗什器備品費		15,000	15,000	0	
リース費		47,000	47,000	0	
支払負担金		10,000	12,000	△ 2,000	
委託費					
	事務所管理費 2 階	258,000	258,000	0	
保険料					
	火災保険料	12,000	12,000	0	

②管理費		2,127,040	2,073,040	54,000
給料手当		550,000	495,000	55,000
	給料通勤手当費	550,000	495,000	55,000
	法定福利費	0	0	0
会議費		375,000	335,000	40,000
	理事会費	130,000	130,000	0
	各委員会費	100,000	80,000	20,000
	役員活動費	80,000	60,000	20,000
	総会開催費	15,000	15,000	0
	総会準備費	50,000	50,000	0
旅費交通費		610,000	605,000	5,000
	理事会旅費	340,000	340,000	0
	各委員会旅費	150,000	145,000	5,000
	役員活動旅費	120,000	120,000	0
租税公課費	諸税	35,000	35,000	0
支払負担金		5,000	6,000	△ 1,000
受信費	電話料	55,000	100,000	△ 45,000
消耗品費		110,000	110,000	0
	消耗品費	70,000	70,000	0
	通信費	40,000	40,000	0
光熱水料費		100,000	100,000	0
消耗什器備品費		15,000	15,000	0
リース費		47,000	47,000	0
委託費	事務所管理費 1 階	140,040	140,040	0
保険料	火災保険	10,000	10,000	0
渉外費		60,000	60,000	0
管理雑費		15,000	15,000	0
③特定預金積立金		50,000	50,000	0
	特別事業	0	0	0
	備品購入	0	0	0
	事務所整備	50,000	50,000	0
	マンション改修	0	0	0
④記念事業積立預金				
	法人設立 40 周年記念事業	50,000	50,000	0
事業活動支出合計 (B)		7,844,040	6,662,040	1,182,000
事業活動収支差額 (A)-(B)		111,160	148,410	△ 37,250

II 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入		0	0	0
2. 投資活動支出				
	固定資産取得費	0	0	0
	事務所購入費	0	0	0
	什器備品購入費	0	0	0
投資活動支出合計 (C)		0	0	0
投資活動収支差額		0	0	0

III 財務活動収支の部				
財務活動収入		0	0	0
財務活動支出		0	0	0
財務活動収支差額		0	0	0

IV 予備費 (D)		111,160	148,410	△ 37,250
当期収支差額 (A)-(B)-(C)-(D)		0	0	0
前期繰越収支差額		911,136	911,136	0
次期繰越収支差額		911,136	911,136	0

(注) 借入金限度額 1,000,000 円  
債務負担額 10,000,000 円

**第 11 回理事会報告**

平成 30 年 3 月 10 日

議長に楢理事、書記に皿谷理事を選任し午後 4 時半より議事開始

**I. 経過報告及び計画に関する件****1) 経過報告および計画 河本会長**

- (経過報告)
- 2月10日 平成29年度近畿地域診療放射線技師会第2回会長会議 (西神オリエンタルホテル)
  - 2月11日 平成29年度近畿地域診療放射線技師会学術大会 (神戸大学医学部附属病院)
  - 2月13日 西南部地区委員会
  - 2月19日 無資格者による診療放射線技師業務の防止に関する要望書の提出 (京都府、京都市)
  - 2月22日 創立70周年記念式典打合せ (京都プライトンホテル)
  - 2月27日 京都府医療推進協議会第35回代表者会議 (京都府医師会館)
  - 3月10日 京都医療科学大学卒業式 (京都医療科学大学)
  - 京放技第11回理事会 (京放技会議室)
- (計画)
- 3月16日 原子力被ばくネットワーク会議 (京都リサーチパーク)
  - 3月22日 京都市健康づくり協会定例理事会 (京都市健康増進センター)
  - 3月25日 京放技学遊会 (友愛の丘)
  - 4月1日 京都医療科学大学入学式 (京都医療科学大学)
  - 4月7日 平成29年度期末監査 (京放技事務所)
  - 4月14日 平成30年度京放技第1回理事会 (京放技会議室)
  - 4月28・29日 業務拡大に伴う統一講習会 (京都医療センター)
  - 5月6日 定例研修会・第71回通常総会・第2回理事会 (京都テルサ)
  - 6月2日 日本診療放射線技師会第79回定時総会
  - 6月9日 平成30年度第3回理事会 (京放技会議室)
  - 6月10日 第53回京都病院学会 (池坊短期大学)

**2) 各委員会報告及び計画****【庶務】皿谷理事**

- ・会員数 1月31日現在556名(先月+1)
- (内訳) 名誉会員4名、正会員527名、賛助会員25社  
新入会1名、転入会1名、転出1名  
※平成29年度新入会累計29名(再入会1名含む)
- ・2月5・6・20日 委員会開催 (京放技事務所)
- ・対外文書98件、発刊文書5件(2月1~28日)

**【財務】渡里理事**

- ・会費・広告料22.5万円入金
- ・会費納入状況(平成30年2月1日現在)  
平成29年度会費納入者491名(93%)  
平成28年度会費未納者6名(1%)
- ・1月6・27日 委員会開催 (京放技事務所)
- ・事務所防犯のため10万円以下で監視カメラの導入を検討中

**【学術】後藤理事**

- ・2月11日 近畿地域診療放射線技師学術大会で京都府受付担当 (神戸大学医学部附属病院)
- ・5月6日 第570回研修会予定 (京都テルサ)

**【編集】中島理事**

- ・2月22日 記念式典会場視察・打合せ (京都プライトンホテル)
- ・2月26日 2018年3月号ニュース校了
- ・3月19日 4月号ニュース編集予定

**【広報・渉外】新井理事**

- ・3月6日 「第53回京都病院学会第2回実行委員会/プログラム編成委員会」開催
- ・平成29・30年度京都府補助金関係報告書作成予定
- ・4月3日 「第53回京都病院学会第3回実行委員会」開催予定 (京都私立病院協会会議室)
- ・5月8日 「第53回京都病院学会第4回実行委員会」開催予定 (京都私立病院協会会議室)

**・京都病院学会の準備委員選出要請****【組織調査】蒲理事**

- ・2月13日 西南部地区委員会出席
- ・3月15日 厚生・組織調査合同委員会
- ・3月25日 学遊会(BBQ)開催 (城陽市友愛の丘)

**【厚生】中川稔章理事**

- ・2月11日 近畿地域学術大会 参加
- ・3月15日 組織調査・厚生合同委員会開催予定
- ・3月25日 学遊会開催予定 (城陽市友愛の丘)

**【情報】大西理事**

- ・2月11日 近畿地域診療放射線技師会学術大会参加
- ・2月13日 西南部地区委員会に参加
- ・2月17・18・19・24日 パスワード付き提供資料の公開準備
- ・2月26日 学遊会の参加状況確認
- ・2月27日 ホームページのトップページを更新  
3月号ニュースを公開  
京放技会員専用パスワード付き提供資料の公開
- ・3月7日 学遊会の参加状況確認  
京放技のロゴマーク募集情報を公開

- ・情報委員会用ノートPC購入を財務委員会と検討中

**【管理士】山根理事**

- ・2月11日 近畿地域放射線・機器管理士会議出席 (兵庫県神戸市)
- ・3月19日 原子力災害時の医療に係る研修講師養成交流会参加予定 (東京都)

**【両丹学術】橋岡理事**

- ・2月11日 近畿地域診療放射線技師会学術大会出席
- ・2月17日 日本医療マネジメント学会第15回京滋支部学術集会出席

**【受賞者選考委員会】河本会長**

- ・報告事項なし

**II. 地区経過報告及び計画に関する件****1) 【北地区】丹後理事(庶務理事代読)**

- ・2月13日 計報連絡、次期地区理事の投票のお願い、学遊会の案内、統一講習会の案内
- ・2月28日 第3回北地区委員会の日程調整
- ・3月5日 学遊会の案内 全てメールにて配信
- ・第3回北地区委員会、永守記念最先端がん治療研究センター見学  
3月下旬(日程調整中)18時より京都府立医科大学附属病院にて開催予定

**2) 【中地区】楡理事**

- ・2月11日 近畿学術大会参加
- ・2月14日 計報連絡を配信  
地区理事選挙ハガキの投函の呼びかけを配信
- ・2月19日 研究会、勉強会開催の案内配信
- ・3月4日 第7回学遊会の参加の呼びかけを配信
- ・3月25日 第7回学遊会参加予定

**3) 【東地区】中川政幸理事(庶務理事代読)**

- ・2月27日 地区理事候補者の選挙に関する告示の投票依頼
- ・3月7日 学遊会参加依頼
- ・連絡網をメーリングリスト化へ準備中

**4) 【西地区】平井理事**

- ・2月4日 地区連絡網メールにて「京都府放射線技師会 平成30年31年度地区理事選出投票」同封の地区名簿不備の連絡
- ・2月13日 地区連絡網メールにて「計報」連絡
- ・2月14日 地区連絡網メールにて「京都府放射線技師会 平成30年31年度地区理事選出投票」投函のお願い
- ・3月6日 地区連絡網メールにて「第7回学遊会(BBQ)」案内

**5) 【南地区】若畑理事(庶務理事代読)**

- ・2月11日 平成29年度近畿地域診療放射線技師学術大会参加 (神戸大学医学部附属病院)

**6) 【両丹地区】小川理事**

- ・3月16日 両丹地区委員会開催予定

**7) 【西南部地区】松本理事**

- ・2月11日 平成29年度近畿地域診療放射線技師学術大会参加 (神戸大学医学部附属病院)
- ・2月13日 第2回西南部地区委員会開催  
西南部地区情報交換会開催
- ・3月5日 学遊会参加案内をメールにて送信

**III. その他****1. 選挙管理委員会報告(澤田選挙管理委員長)**

平成30・31年度地区理事候補者選挙開票結果を報告

**2. 近畿会長副会長会議報告(河本会長)**

(中澤会長報告)2月4日読売新聞に掲載された医学物理士の国家試験化の記事に対し、日放技から自民党・公明党へ反対意見を提出。診療放射線技師国家試験の副委員長に診療放射線技師が任命された。

(日放技事業計画)平成32年度からクリニカルラダーが実施される。診療報酬改定で画像管理加算3ができ、被ばく管理が入っているが、残念ながら医師が管理する制度である。兵庫県の医療監視で被ばく認定施設が評価されたので、この制度を全国で展開して欲しい。

**3. 教育委員会会議報告(原口副会長)**

平成30年度、統一講習会を近畿で15件ほど計画している。P-MET新人教育講習会は京都での開催になる。臨床実習講習会は神戸市での開催。京都府での基礎技術講習会は看護学、基礎講習会は一般撮影を6月に予定している。MRI検査は奈良県で11月18日、X線CT検査は和歌山県で7月29日、超音波検査は7か8月に兵庫県で予定している。

**4. 京都府・京都市へ要望書提出(河本会長)**

無資格者による診療放射線技師業務の防止に関する要望書を京都府・京都市へ直接、提出した。

**5. 資金調達の見込みについて(河本会長)**

来年度、金融機関から融資を受ける予定はなく、建設物を新たに建てる予定がないことを承認。

**6. 規程の改定(河本会長)**

京都府指導のもと、規程を改訂したことを承認。総会にて報告する。以上、各議案について採択し承認された。(文責：皿谷)

## 編集後記

先日、長崎の軍艦島に観光に行ってきた。明治日本の産業革命遺産として世界遺産に登録されたのは 2015 年。江戸時代の終わり頃には細々だが石炭が採れており、明治に入って三菱重工が買い取ってから大規模な採掘が行われるようになった。戦前戦後と石炭はライフラインとして重宝され、長さ 500m に満たない島からは、地中 1,000m まで掘り下げて採掘されていた。坑夫はかなりの高収入で、日本でいち早く三種の家電（テレビ、冷蔵庫、洗濯機）が普及していた。昭和 35 年に世界一の人口密度を誇っていた軍艦島は建物が乱立しており、49 年に閉山した後は廃墟となったものが現在に至っている。その軍艦島の観光もなかなか満足だったのだが、同時に世界遺産に登録された産業遺産として、日本で初めて導入された電動クレーンも興味をそそる。これは 100 年以上も稼働しており、なんと、現役である。100 年間も現役で稼働している機器があることに驚く。これを製造した技術者は（残念ながら日本製ではなく、イギリスのメーカー）当時の最高の技術をすべてつぎ込んだに違いない。現在の高度医療機器は 5 年で「旧式」扱いになり、10 年間も稼働することはほとんどないであろう。数億円する医療機器も数年で使い捨てになるのは技術の進歩があるので仕方がないとしても、例えば、日本一の高さを誇るあべのハルカスは 100 年後も建っているのだろうか。そう考えると現在の技術は進んでいるのか、退化しているのか。多機能化している分、耐久性がなくなったのか。日本初で現役の電動クレーンを製造した技術者を見習い、我々も日ごろから高度な技術を身に付け、最高の仕事をしていると言い切りたいものだ。

編集委員長 中島 智也

### ▶ 4 月以降の京放技活動

4 月 28・29 日	業務拡大に伴う統一講習会	京都医療センター
5 月 6 日(日)	第 570 回研修会、第 71 回通常総会	京都テルサ

### ▶ 4 月以降の京都府以外での近隣講習会

直近の予定はありません

## 会 員 異 動

### 【物故】

後藤 宏成（京都府立医科大学附属北部医療センター）御尊父 2 月 13 日御逝去  
ご冥福をお祈りいたします。